

【再案内】

■公演概要

日時：2025 年 9 月 21 日（日）

14:00～16:30（開場 13:00／作品解説 13:30～）

会場：昭和女子大学 人見記念講堂

主催：公益財団法人イオン環境財団／公益財団法人日本オペラ振興会

■上演演目「ニングル」について

作品の詳細につきましては、添付の告知案内をご参照ください。

2024 年 2 月に初演された日本オペラ協会公演「ニングル」が、再演されます。

暮らしを豊かにするために森を切り拓き、発展を信じた人々が“生命の木”の教えに触れ、再生と共存の道を見出す姿は、現代を生きる私たちに深い問いを投げかけます。

ドラマ「北の国から」などで知られる脚本家・倉本聰氏が 1985 年に執筆した本作品は、朗読劇や舞台作品として何度も上演されてきた代表作であり、初のオペラ化作品となります。

【主な変更点】

① 申込フォームについて

代々木中学校専用の申込フォームを新たにをご用意いたしました。

生徒・保護者・教職員の皆さま、すべてこちらのフォームからお申し込みをお願いいたします。

👉 フォーム URL：<https://forms.office.com/r/e4WCaiELgt>

② 申込締切の延長

申込締切日を 8 月 20 日（水）まで延長いたしました。

③ チケットの枚数と席数について

- ・ お一人あたりの申込上限は、本人を含めて最大 5 枚までとさせていただきます。
 - ・ 貴校向けのご招待枠として、最大 500 席までをご用意しております。
- ※定員に達し次第、フォームは締め切らせていただきますので、予めご了承ください。

倉本 聡 原作

渡辺 俊幸 作曲 / 吉田 雄生 オペラ脚本

未来につなげ、いのちの木

ニッポンが

聡

オペラ全2幕

〈字幕(日本語／英語)付き原語(日本語)上演〉

総監督 | 郡 愛子

指揮 | 田中 祐子 演出 | 岩田 達宗

勇太(ユタ) : 村松 恒矢 オ三 : 渡辺 康 かつら : 光岡 暁恵 ミクリ : 相楽 和子 スカンボ : 井上 華那 光介 : 和下田 大典

信次 : 勝又 康介 民吉 : 泉 良平 ニングルの長 : 山田 大智 かや : 長島 由佳 信子 : 佐藤 恵利

合唱 : 日本オペラ協会合唱団

管弦楽 : 神奈川フィルハーモニー管弦楽団

2025 9/21 日 14:00 開演

開場 13:00

13:30から作品解説をいたします。

上演時間: 約2時間30分

昭和女子大学人見記念講堂

東急世田谷線「三軒茶屋」駅より徒歩10分

オペラとして蘇る——倉本聰の名作、待望の再演へ



イオン環境財団 Presents

日本オペラ協会公演



ニングル



指揮 田中祐子
Yuko TANAKA



演出 岩田達宗
Tatsuji WATA

本公演は、公益財団法人イオン環境財団の主催により開催いたします。未来のために木を植え、里山の再生に取り組むなど、当財団の活動と、オペラ『ニングル』が描く「森を守ることの意味」には、深い共鳴があります。自然を切り拓くことで豊かさを得られると信じていた人々が、「生命の木」の教えに気づき、再生の道を見出していく姿は、環境と人との関係を改めて問いかけるものです。

「昔に返せ」「未来につなげ」——『ニングル』が放つ人間への痛切なメッセージを、今、イオン環境財団と日本オペラ協会が力を合わせてお届けします。どうぞご期待ください。

STORY

富良野岳の山麓にヒエベツという村があった。勇太やオ三ら若者たちは森を伐採し、農地の新たな開拓を計画していた。勇太とかやの結婚式の夜、勇太とオ三は勇太の姪のスキャンボを連れて森を訪れ、そこで不思議な生き物と出会う。15センチくらいの小さな人間、かつてアイヌの先住民たちは彼らを「ニングル」と呼んだ。ニングルは勇太とオ三に告げる。「森を伐採し、伐ッたら村ハ滅ビル」ニングルの言葉を信じるオ三とニングルの存在を否定してしまう勇太。オ三は村から孤立してしまった。しかし、やがて、村は大洪水に襲われ、豊かだった水が枯れた。増えるはずの収穫は思い通りにはいかず、人々は借金に苦しめられた。ニングルの予言通り、村は破滅へと向かってしまったのだ。本当の豊かさとは、本当の幸せとは何なのか、そして人間は、「生命の木」を未来に繋ぐことができるのだろうか——。



勇太(コク)
村松 恒矢
Koya MURAKATSU



オ三
渡辺 康
Kazushi WATANABE



かつら
光岡 曉恵
Akoe MITSUKIDA



ミクリ
相樂 和子
Kazuko SAGARA



スキャンボ
井上 華那
Kana INOUE



光介
和下田 大典
Daiisuke WAJETA



信次
勝又 康介
Kenji KATSUMATA



匠次
泉 良平
Ryonei UZUKI



ニングルの長
山田 大智
Tachi YAMADA



かや
長島 由佳
Yuka NAGASHIMA



信子
佐藤 恵利
Eri SATO

合唱：日本オペラ協会合唱団
Nihon Opera Kyokai Chorus Group

管弦楽：神奈川フィルハーモニー管弦楽団
Kanagawa Philharmonic Orchestra

STAFF

合唱指揮：河原哲也 美術：松生純子 衣裳：下斗米大輔 照明：大島祐夫 振付：古賀豊 舞台監督：伊藤潤 副指揮：鈴木尊馬 演出助手：三浦奈穂



「お客さまを原点に、平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する」というイオンの基本理念のもと、岡田卓也(当財団名誉理事長、イオン株式会社名誉会長相談役)により、日本で初めて地球環境をテーマにした企業単独の財団法人として1990年に設立されました。

以来、世界各地の多様なステークホルダーの皆さまとともに、「植樹」「環境活動助成」「環境教育・共同研究」「顕彰」などの事業を中心に、環境活動を推進しています。

現在は、持続可能な地域社会の実現を目指し、新たな里山づくりに取り組んでいます。